学校番号	３０４

令和８年度　国際文化科

教科	国際文化	科目	中国文化Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	中国を歩こう　（金星堂）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・グローバル化する社会の中で，広い視野から国際理解を深め，社会の一員として国際協調の精神を養い，国際社会と向き合うことのできる人材となれるように努めてください。
・自国の文化や，中国の背景にある文化に対する関心を高め，理解を深めようとする態度を養ってください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
初級中国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深める。実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
中国語の背景にある文化に対する理解を深め，主体的，自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・初級中国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深める。 ・実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	・コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	・中国語の背景にある文化に対する理解を深め，主体的，自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１課～第３課	１　人称代詞 ２　動詞が述語になる文 ３　場所語 ４　疑問視を使う疑問文 ５　指示代詞 ６　数詞	a: 人称代詞、場所語、指示代詞、数詞などの意味や働きを理解している。 b: ごく身近な話題（自己紹介など)に関する話題について書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c:本単元で学んだ文法事項を使い、表現をしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題
	第４課～第６課	１　100 以上の大きい数字 ２　時刻の言い方 ３　反復疑問文 ４　時間量の表し方 ５　形容詞が述語になる文 ６　方位詞	a: 反復疑問文、方位詞などの意味や働きを理解している。 b: ごく身近な話題（タクシーに乗ったり、道を尋ねたりなど）に関する話題について書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c:本単元で学んだ文法事項を使い、表現をしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題
２学期	第７課～第９課	１　中国のお金 ２　比較を表す表現 ３　量詞(助数詞) ４　数量詞 ５　動詞の進行形 ６　連動文	a: 比較を表す表現、量詞、数量詞、進行形、連動文などの意味や働きを理解している。 b: ごく身近な話題（ショッピングや電話をかけるなど）に関する話題について書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c:本単元で学んだ文法事項を使い、表現をしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題

	第10課～第12課	1 度量衡の単位 2 料理の注文のしかた 3 結果補語 4 禁止の言い方	a: 度量衡の単位や結果補語、禁止の言い方などの意味や働きを理解している。 b: ごく身近な話題（レストランや郵便局での会話など）に関する話題について書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c:本単元で学んだ文法事項を使い、表現をしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題
3学期	第13課～第14課	1 親族呼称 2 様態補語 3 挨拶言葉 4 年齢の言い方 5 方向補語	a: 親族呼称、機能補語、挨拶言葉、年齢の言い方、方向補語などの意味や働きを理解している。 b: ごく身近な話題（家庭訪問、世間話など）に関する話題について書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c:本単元で学んだ文法事項を使い、表現をしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度